

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会
第 66 回 リスク専門部会 議事録

1. 日 時：2023年11月13日（月）13：30～15：50

2. 会議方式：Web 会議

3. 出席者（敬称略）

（出席委員）高田(孝)部会長，桐本副部会長，喜多幹事，国政幹事，竹下幹事，山中幹事，
江藤，柿木，倉本，栗坂，佐藤，高橋，竹内，廣川，丸山，森山，吉田（17名）

（欠席委員）糸井，高田(毅)，武部，三輪（4名）

（常時参加者）川口，鈴木（2名）

（欠席常時参加者）浅野，小城，西村（3名）

（説明者）【地震 PRA 作業会】根岸幹事，錦見幹事，高橋委員，原口委員

【外的事象 PRA 分科会】泥谷委員

【レベル 1PRA 分科会】桐本副主査，橋本幹事，喜多幹事

【レベル 2PRA 分科会】山越幹事

【レベル 3PRA 分科会】木村幹事

【JIWG】川口コーディネータ

【システム安全専門部会 統合的安全性向上分科会】倉本幹事（延べ 12 名）

（事務局）大沼，正岡，平野（3名）

4. 配付資料（議事録末尾に記載）

5. 議事内容

事務局から開始時，委員総数21名中，15名が出席しており，成立に必要な定足数（14名以上）
を満たしていることが報告された。

(1) 前回議事録（案）について（RKTC66-1）

前回議事録（案）について事前に配付されていた内容で承認された。

(2) 人事について（RKTC66-2）

事務局から RKTC66-2 に基づき，専門部会，及び分科会の人事について以下の提案があり，
委員の退任等が確認され，審議の結果，専門部会委員の再任が決議され，分科会委員の選任が
承認された。

【専門部会】

先ず，部会長と副部会長の協議により，喜多委員が，当専門部会幹事，並びに標準活動基本戦略
タスク委員に指名された。

◆決議事項

(1) 委員再任

三輪 修一郎 東京大学

2024.03～2026.02

【分科会】

○レベル 2PRA 分科会

◆承認決議事項

(1)委員選任

佐藤 寿樹 東芝エネルギーシステムズ

◇確認事項

(1)委員退任

廣内 崇幸 東芝エネルギーシステムズ 2023.09.29

(2)幹事退任

廣内 崇幸 東芝エネルギーシステムズ 2023.09.29

(3)幹事指名

佐藤 寿樹 東芝エネルギーシステムズ

○レベル 3PRA 分科会

◆承認決議事項

(1)委員選任

西 朋秀 関西電力

◇確認事項

(1)委員退任

長江 尚史 関西電力 2023.10.16

○PRA 品質確保分科会

◆承認決議事項

(1)委員選任

生野 健一郎 関西電力
川口 拓也 中部電力
高橋 拓真 日本原子力発電
吉崎 光太郎 日立 GE ニュークリア・エナジー

◇確認事項

(1)委員退任

木村 竜介 日立 GE ニュークリア・エナジー 2023.04.14
向井 肇 中部電力 2023.06.23
櫻井 康広 日本原子力発電 2023.06.26
竹次 秀一 関西電力 2023.06.30

(2)幹事退任

竹次 秀一 関西電力 2023.06.30

(3)幹事指名

生野 健一郎 関西電力

(3) 【報告・審議】 (RKTC66-3-1~3)

地震PRA標準 技術レポート原案に関する中間報告について

(担当：地震 PRA 作業会 根岸幹事，錦見幹事，高橋委員，原口委員，藤岡委員)

地震 PRA 作業会 錦見幹事から資料 RKTC66-3-1~3 に基づき，地震 PRA 標準 技術レポート原案について中間報告があった。審議の結果，RKTC66-3-3 について目次の見直し版資料を作成し，その見直し版資料を対象に 30 日間の意見募集を実施することが決議された。また，意見を記入するためのブランクフォーマット (RKTC66-3-2) も併せて送付する。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：今回の中間報告の対象としている技術レポート原案は，どの程度の出来上がりなのか？

A：技術レポート原案に関して，一部不足している事例はあるが，9割以上が出来上がっている状態のため，中間報告をさせて頂くこととした。最終報告までには，今回頂くコメントの反映と不足している事例を準備する計画としている。

Q：目次と事例 No.が一致していない。意見募集をする事例を明確にすべきではないか？

A：目次と事例 No.の対応がわかるように，意見募集用として目次の見直しを行う。

C：意見募集では，技術レポート原案と一緒に意見を取りまとめるフォーマット (RKTC66-3-2) を送付するので，意見に関しては，そちらに記入いただきたい。

(4) 【報告・審議】 (RKTC66-4-0~4)

“外部ハザードに対するリスク評価方法の選定に関する実施基準：202X” の意見募集結果及び受け付けた意見への対応について

(担当：外的事象PRA分科会 泥谷委員)

事務局から資料 RKTC66-4-0 に基づき，題記改定原案に関する意見募集の結果，5名の委員から意見があったことが報告された。引き続き，外的事象 PRA 分科会 泥谷委員から，資料 RKTC66-4-1~4 に基づき，受け付けた意見への対応について説明があり，審議の結果，この修正内容は適切であり，この資料にて次回の標準委員会に中間報告することが決議された。

特に質疑，コメント等は無かった。

(5) 【報告・審議】 (RKTC66-5)

原子力発電所の確率論的リスク評価用のパラメータ推定に関する実施基準の改定について

(担当：レベル1PRA分科会 桐本副主査，橋本幹事，喜多幹事)

レベル 1PRA 分科会 橋本幹事から，資料に基づき，題記標準の改定に関する趣意説明があり，審議の結果，この内容で次回の標準委員会へ改定趣意を報告することが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：改定構成案 2，3 の場合，L1PRA 指針に含めることになるが，L1PRA 基準以外の標準から呼び込まれていないことは確認済みか。

A：改定検討の中で確認していく予定。地震・津波の標準では参照している可能性がある。

Q：他の標準で呼び込んでいないか事務局で調べられるか。

A：事務局としては，かなり難しい，時間のかかる作業になる。

A：基本的に分科会で確認する。必要に応じ対象を絞るなどして事務局とも相談する。

Q：パラメータ推定実施基準には，what to do に相当する要求事項は規定していないか。

A：規定していない。現行の実施基準は，how to do に相当することを確認している。

(6) 【報告】 (RKTC66-6)

制改定済標準に関する用語辞典への掲載項目（追加、変更、削除）の検討結果及び国際会議への投稿について
(担当：レベル2PRA分科会 山越幹事)

レベル2PRA分科会 山越幹事から、資料に基づき、用語辞典への掲載項目の検討結果及び国際会議への投稿について説明があった。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

Q：用語集には英語を併記しているものと併記していないものがあるが。

C：用語には英語を併記することになっているので、英語を併記した方がよい。

A：L1PRA標準は発行済であるので、今からの英語の追記はしない。

C：用語集全体への今後の改善としてタスクへコメントするとよい。

C：対外的な情報発信は良いこと。今後も積極的に実施してほしい。

(7) 【報告】 (RKTC66-7)

学会員へのアンケート結果について

(担当：事務局)

事務局から、資料に基づき、学会員へのアンケート結果について報告があった。このアンケート結果を整理し、11月22日の標準活動基本戦略タスクへ喜多幹事から報告することとした。

特に質疑、コメント等は無かった。

(8) 【報告】 (RKTC66-8-1~4)

標準策定5か年計画の更新（2024年版作成）について

(担当：竹下幹事)

竹下幹事から、資料に基づき、標準策定5か年計画の2024年版の作成について説明があり、本日の説明内容にて標準策定5か年計画の2024年版の検討を進めることとした。

なお、RKTC66-8-3（標準策定5か年計画の更新ガイドライン）については、最新版（改定3）に従うことを確認した。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

C：本年はアンケート結果が出ているので、それも踏まえて検討いただきたい。

(9) 【報告】 (RKTC66-9)

倫理教育の実績について

(担当：喜多幹事)

喜多幹事から、資料に基づき、専門部会／分科会における倫理教育の実施実績について報告があった。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

Q：外的事象 PRA分科会は10月24日（予定）となっているが。

A：実施済である。

(10) 【報告】 (RKTC66-10)

JCNRMへの参加報告について

(担当：JIWG 川口コーディネータ)

JIWG 川口コーディネータから、資料に基づき、JCNRMへの参加状況について説明があった。この内容で次回の標準委員会へも報告する。また、各分科会からも積極的な参加するよう依頼があった。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

C：次回のJCNRMの日付（年）について誤記訂正要。

A：誤記修正する。

(11) 【報告】 (RKTC66-11)

分科会活動状況について

(担当：各分科会代表者等の関係者)

資料に基づき、分科会及びリスク情報活用検討タスクの活動状況について確認した。

特に質疑、コメント等は無かった。

(12) 【報告】 (RKTC66-12)

“原子力発電所の継続的な安全性向上のためのリスク情報を活用した統合的意思決定に関する実施基準”の改定について

(担当：システム安全専門部会 統合的安全性向上分科会 倉本幹事)

システム安全専門部会 統合的安全性向上分科会 倉本幹事から、資料に基づき、題記標準の改定着手について説明があり、リスク専門部会として協力していくことを確認した。

特に質疑、コメント等は無かった。

6. その他

(1) 事務局から、分科会開催日程について、次の予定に間に合うように調整するよう依頼があった。

- ・2024年2月2日（金）配付資料送付期限
- ・2024年2月6日（火）配付資料のサーバーアップ

(2) 今後の予定

次回は、2024年2月13日（火）13：30からの開催とした。

【配付資料】

RKTC66-0 第66回リスク専門部会議事次第

RKTC66-1 第65回リスク専門部会議事録（案）

RKTC66-2 人事について

RKTC66-3-1 “原子力発電所に対する地震を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準の評価適用事例集” リスク専門部会 中間報告

RKTC66-3-2 外的事象PRA分科会・地震PRA作業会コメント対応表、並びに、リスク専門部会用コメント記入フォーマット

RKTC66-3-3 “原子力発電所に対する地震を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準の評価適用事例集” 技術レポート（原案一式）

RKTC66-4-0 “外部ハザードに対するリスク評価方法選定に関する実施基準：202X” 標準改定原案に関する意見募集【RKTC23-01】の結果について

RKTC66-4-1 “外部ハザードに対するリスク評価方法選定に関する実施基準：202X” 標準改定原案に関するリスク専門部会における意見募集【RKTC23-01】コメントに対する対応表

RKTC66-4-2 “外部ハザードに対するリスク評価方法の選定に関する実施基準：202X” リスク専門部会コメント対応表

RKTC66-4-3 “外部ハザードに対するリスク評価方法の選定に関する実施基準” 新旧比較評価

RKTC66-4-4 “外部ハザードに対するリスク評価方法の選定に関する実施基準：202X” 標準改定原案

RKTC66-5 原子力発電所の確率論的リスク評価用のパラメータ推定に関する実施基準の改定について

- RKTC66-6-1 制改定済標準に対する用語辞典への掲載項目（追加, 変更, 削除）の検討結果について
原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準
（レベル 2PRA 編：2022）
- RKTC66-6-2 “原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準
（レベル 2PRA 編：2022”（津波拡張版））の国際会議への投稿について
- RKTC66-7 標準の制定／改定に係るアンケート【リスク専門部会】
- RKTC66-8-1 標準委員会の標準策定 5 か年計画の更新について（2023 年 9 月 14 日 標準活動
基本戦略タスクからの依頼状）
- RKTC66-8-2 リスク専門部会 標準策定 5 か年計画（2024 年版）
- RKTC66-8-3 SG-105_標準策定 5 か年計画の更新ガイドライン
- RKTC66-8-4 リスク専門部会の標準策定 5 か年計画の更新について（お願い）
- RKTC66-9 倫理教育の実績について
- RKTC66-10 ASME/ANS JCNRM 参加報告
- RKTC66-11 分科会の活動状況について（2023 年 10 月 31 日時点）
- RKTC66-12 「原子力発電所の継続的な安全性向上のためのリスク情報を活用した統合的意思決定に
関する実施基準」の改定について

参考資料

- RKTC66-参考 1 リスク専部部会委員名簿
- RKTC66-参考 2 リスク専門部会出席実績

以 上